

ふくしまの森林文化調査カード

No.46

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	天然スギ	(ふりがな) てんねんすぎ	
地域独特の呼び方	単に「天スギ」とも言う	たんに「てんすぎ」ともいう	
タイトル	本名スギ(ふくしまの森林をつくる樹木)		
伝承地域	本名スギは、大沼郡金山町本名(旧本名村)の霧来沢流域並びに大石田沢流域に自生する天然スギである。狭域に限定して「三条スギ」とも呼ばれる。		
由来(年代)	日本名村では明治維新前から酒桶材料に天然スギの大径木を伐採していたが、乱伐のため大径木が少なくなり1902(明治35)年村民が禁伐にしたので天然林が残ったと言われる。		
内容	標高400~900mの大三紀凝灰岩及び流紋岩基盤岩のうえに分布している。当地方の年降水量は2,000mm以上である。特徴として、結実量が極めて少なく、一般に伏状性を有する、耐陰性が強い、幼樹期に生長が緩慢でも大径木となると生長旺盛で年輪幅が揃う、心材の色は赤褐から黒褐、針葉が長い等を挙げることができる。耐寒耐雪性に優れたウラスギ系統であるが、形態的に大きな変異を持った地域品種である。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 金山町教育委員会(Tel:0241-54-5360)		

【フリーフォーマット】

キーワード



枝打ちが整ったスギ人工林 金山町本名